

目次

I 問題意識

第一章 一九八〇年代の思想状況 6

第二章 フッサールとピアジェ 20

II 認識論

第三章 「純粹経験」とは何か 36

第四章 統合の過程 56

第五章 帰納法の役割 80

第六章 時間と他者 106

Ⅲ 科学論

第七章 二つの科学論 122

第八章 室内鳥類学とグッドマンの「グルー」 138

第九章 構成主義の限界 153

第十章 反証理論の射程 170

第十一章 科学理論の複合構造 184

第十二章 量子論と実在 194

文献表 212

あとがき 215